

# 教育課程研修 (小学校 道徳)

道徳科の充実に向けて

# 研修の流れ

- 道徳科実施の背景
- 1 道徳科の指導について
- 2 道徳科の評価について
- 3 道徳教育推進教師について
- 4 各種計画について

# 道徳教育研修用PPデータについて

SKIPポータル→連絡・書庫→書庫  
→閲覧→教育委員会→教育センター  
→教育振興担当→道徳教育研修用  
データ

# 道徳科実施の背景 (再確認)

# 道徳科実施の背景



どうして道徳科になるの？

## これまでの「道徳の時間」は？

- 歴史的経緯に影響され、道徳教育を忌避しがちな風潮がある。
- 各教科に比べて軽んじられ、他の教科の指導に振り替えられているのではないか。
- 指導方法のばらつきが大きい。
- 単に読み物の登場人物の心情を理解するだけの型にはまったものになりがち。
- 特定の価値観を押し付けたり、わかりきったことを、書かせたり言わせたりしている。

量的確保  
質的転換

## 教科にすることで

- ☆標準指導時数を確保できる。
- ☆教科書を配付することで、すべての学校で確実に指導できる。
- ☆「考える道徳」「議論する道徳」の指導へ変えていくことができる。
- ☆評価（指導の結果を明らかに）することで、指導が充実する。

道徳科になった理由をしっかりと理解して、**指導の量的確保と質的転換**を図りましょう！

# 道徳科開始によって

## 変わらないこと

- ・道徳教育は、全教育活動を通じて行うこと
- ・道徳教育の要として、道徳科の授業を年間35時間以上行うこと
- ・道徳教育及び道徳科では、道徳性を養うことを目標としていること

# 道徳科開始によって

## 変わること

- ・教科用図書を主たる教材として使用すること
- ・道徳科の授業で児童生徒を評価すること

# 道徳科開始によって

求められていること

- ・道徳科の授業の量的確保  
→年間35時間以上実施して評価する
- ・道徳科の授業の質的転換  
→「考え、議論する道徳」
- ・教育課題への対応  
→いじめ問題、情報モラル、ESD等



# 1 道徳科の指導について

# 1 道徳科の目標



道徳科の目標はどう変わったの？

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を〔広い視野から〕多面的・多角的に考え、自己〔人間として〕の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

〔 〕内は中学校

小学校学習指導要領 P.16

①道徳的価値のよさを「わかる」授業

②わかりきったことを教えるのではなく、様々な道徳的価値をいろいろな

角度から考えられる授業

③「自分のこととして考える」「自分の生き方について考える」授業

# ポイント2



## 道徳科の授業づくり

①道徳的価値のよさを「知る」授業

⇒内容項目とそれについての子どもの実態の確認

⇒1時間の「ねらい」の明確化

②わかりきったことを教えるのではなく、様々な道徳的価値をいろいろな

角度から考えられる授業

⇒「閉じた発問」を「開いた発問」に

⇒「初めて考える」「深く考える」展開

③「自分のこととして考える」「自分の生き方について考える」授業

⇒教材の登場人物の心情理解に終わらない工夫

⇒他人事ではなく自分事として考え、自分なりの「納得解」を目指す

指す

道徳科における「主体的・対話的で深い学び」とは

「考え、議論する道徳」を実施すること

- ・教科用図書を使用した学習で
  - 物事を多面的・多角的に考える工夫
  - 自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める工夫
- ・問題解決的な学習・道徳的行為に関する体験的な学習で
  - 思い切った授業展開の工夫

# ポイント4



問題解決的な学習

道徳的行為に関する体験的な学習

道徳的行為に関する体験的な学習

## 問題解決的な学習

- オープンエンド
- 課題発見から解決へ
- 教師と児童生徒，児童生徒相互の話し合いを十分に
- 児童生徒一人一人が課題に対する答えを導き出すことが大切

※話し合う場面を設定することが目的化しない！

※取り入れられる手法が適切か否かをしっかり吟味する！

- 実際に挨拶や丁寧な言葉遣いなど具体的な道徳的行為をして，礼儀のよさや作法の難

しさを考える

- 相手に思いやりのある言葉を掛けたり，手助けをして親切についての考えを深めたりする

- 教材に登場する人物等の言動を即興的に演技して考える役割演技

※単に体験的行為や活動そのものを目的として行うのではなく，授業の中に適切に取り入れる！（道徳的価値についての考えを深める）

# 道徳科における「主体的・対話的で深い学び」とは

## 「考え、議論する道徳」実施時の留意点

・道徳的諸価値の理解をする指導の基本を理解しているか

→ 基本的な指導の土台の上に工夫する

・「考え、議論する」ことが目的になっていないか

→ 「考え、議論する」ことに必要性をもたせる

# 教科用図書について

## 「学校教育法」第34条 要約

- ・教科用図書を使用しなければならない。
- ・その他の教材で、有益適切なものは、これを使用することができる。

前から順番に全ての教材で学習(原則)

# 教科用図書の利用について

前から順番に全ての教材で学習(原則)

◎学校の負担を減らし、未履修を防ぐための原則  
「前から順番に」→各校の年間指導計画の工夫  
「全ての教材で」→各校の実態に応じて教科用図書以外の教材の使用も可能

特に留意が必要



# 教科用図書について

## 教科用図書以外の教材使用時の留意点

・主題ごとに主に用いる教材は、ねらいを達成するために中心的な役割を担うものであり、安易に変更することを避けなければならない。変更する場合は、そのことによって一層効果が期待できるという判断を前提とし...(中略)...校長の了解を得て変更することが望ましい。

# 教科用図書について

## 教科用図書以外の教材使用時の留意点

- ・各学年段階の内容項目の内容と合致しているか
- ・内容項目に含まれる道徳的価値に漏れ落ちはないか
- ・学校として共通理解ができているか
- ・保護者への説明責任を果たせているか

十分な確認が必要（著作権にも留意）

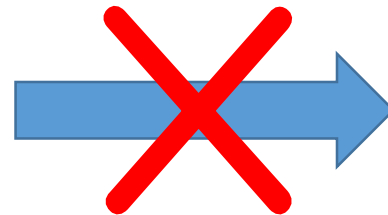
# 教科用図書について

## 教科用図書以外の教材使用時の留意点

低学年 A「節度、節制」の場合

「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする事

物や金銭を大切に



友だちと仲良くする

# 特別支援学級における道徳科の授業について

困り感に対応した支援をする

- ・自分をふり返るのは終末
  - 身近な体験から考え始める
- ・行動の指導はしてはいけない
  - 行動から理解する方が考えやすい

道徳科の基本にとらわれすぎない

# ICTを活用した道徳科の授業について

ねらい達成のために効果的に活用

- ・デジタル教科書による教材提示として
  - 読み上げ機能、場面絵の提示 等
- ・教科書の内容理解についての支援として
  - 臨場感、緊迫感、実物感 等
- ・多面的・多角的に考えるための支援として
  - タブレットを用いた意見交流 等

目的  
ではなく  
手段

## 2 道徳科の評価について

## 4 道徳科の評価



道徳科の評価は、どのようにするの？

以下の点に基づいて、児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすようにします

- ・数値による評価ではなく、記述式であること
- ・児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます、個人内評価として行うこと
- ・内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価を行うこと
- ・発達障がい等のある児童生徒や海外から帰国した児童生徒、日本語習得に困難のある児童生徒に配慮すること

か、

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視

して評価しましょう！

○学校生活での成長ではなく、あくまでも道徳科の学習における成長の様子を評

# ポイント4



## 道徳科の評価の方法

○学習の過程や成果などの記録を計画的にファイル等に集積

して学習状況を把握する（ポートフォリオ評価）

○授業時間に発話される記録や記述などをエピソード（挿話）と

して集積する（エピソード評価）

☆教師間で評価方法を検討し、評価の視点などについて

共通理解を図ることが大切

### 評価の視点の例

- ・道徳的価値の理解について評価しよう
- ・多面的・多角的な見方考え方について評価しよう
- ・自己の生き方についての考えの深まりを評価しよう
- ・自分の考えを表現したり、話し合ったりする姿を評価しよう 等

### 評価の方法の例

- ・道徳カード
- ・発言内容
- ・表現活動や話し合いの様子 等



# ポイント4



## 道徳科の評価の具体

### ○道徳的価値の理解

「気づくことができました」「よさを知ることができました」

### ○多面的・多角的な考え方

「いろいろな考えを出すことができました」

「様々な意見をもとに、自分の考えをまとめることができました」

### ○自己の生き方についての考えの深まり

「これからの自分について、考えを深めることができました」

「人間の在り方について、深く考えることができました」

### ○自分の考えを表現したり、話し合ったりする姿

「～についての自分の考えを、しっかりと発表することができました」

「～について、グループで話し合って考えを深めることができました」

# 道徳科の評価について

## 多面的・多角的な見方をしている姿を見取る

- ・ねらいとする道徳的価値の様々な面を考える。
- ・道徳的価値を支える様々な根拠を考える。
- ・様々な登場人物の立場で考える。
- ・焦点を絞って考えたり、視野を広げて考えたりする。
- ・時間の経過とともに変化する気持ちを考える。
- ・人間の強さや弱さ等を捉えて考える。 等

# 道徳科の評価について

## 自分自身との関わりの中で深めている姿を見取る

- ・教材の登場人物に自分を置き換えて考える。
- ・教材の問題点等を自分事として受け止めて考える。
- ・日常生活や学校生活等を想起しながら考える。
- ・自分の生活を見つめ、振り返りながら考える。
- ・自分だったらどうするか等を考える 等

# 道徳科の評価について

## 通知表と指導要録

### 通知表

- ・学期ごとの評価
- ・学習状況をより具体的に
- ・児童生徒を励まし、保護者に理解を得る

### 指導要録

- ・年度末の評価
- ・成長の様子をおおくりなまとめりとして
- ・学年や学校の連続性を意識する

# 道徳科の評価について

例えば...

通知表

指導要録

1 学期

学習状況

2 学期

学習状況  
(成長の様子)

3 学期

成長の様子

1 年間

成長の様子

文末を整えて

# 道徳科の評価について

## 道徳科の評価の意義

教師

教師が指導の目標  
や計画、指導方法の  
改善・充実に取り組  
むための資料となるも  
の

自らの成長を実感  
し、意欲の向上に  
つなげていくもの

児童生徒

指導に生かされ、児童生徒の成長につながる評価  
でなければならない＝指導と評価の一体化

# 3 道徳教育推進教師 について

# 自校の道徳教育をチェック

全教育活動を通じて行う道徳教育での指導が  
できているか？

週1回の道徳科の授業が確実に行われ、機能  
しているか？

子供たちのよさを認め、励ます評価ができている  
か？



# 道徳教育を充実させるには

学校が主体的に子供や地域の実態など様々な事項を的確に把握して、  
育てたい子供像を明確にして  
目標を設定し、計画を立てて、  
教職員が共通理解、共通実践できるようにする

学校のカリキュラム・  
マネジメント

学校の組織力

校長の  
リーダーシップ

# 道徳教育推進教師の役割

- ・道徳教育の指導計画の作成に関すること
  - ・全教育活動における道徳教育の推進・充実に関すること
  - ・道徳科の充実と指導体制に関すること
  - ・道徳用教材の整備充実に関すること
  - ・道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
  - ・道徳科の授業の公開など家庭や地域との連携に関すること
  - ・道徳教育の研修の充実に関すること
  - ・道徳教育における評価に関すること
- 等

# 4 各種計画について

# 道徳教育における各種計画

道徳教育の全体計画

道徳教育の全体計画(別葉)

道徳科の年間指導計画

# 道徳教育における各種計画

## 道徳教育の全体計画

各学校においては、第1の2に示す道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開すること。

小学校学習指導要領解説 総則編より抜粋

学校の道徳教育をどう進めていくか一目でわかる  
計画 ☆作成義務☆



# 道徳教育における各種計画

## 道徳科の年間指導計画

各学校においては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成するものとする。

小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳」編より抜粋

児童生徒の発達の段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画 ☆作成義務☆

# 道徳教育における各種計画

## 道徳科の年間指導計画

重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導，一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行う。  
 (日本文教出版HP内)

平成30年度版「小学どとく 生きる力」年間指導計画案4年							日本文教出版
月	単元名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	他教科等との関連	
1	朝がくると	B 感謝	身近なことへの感謝	自分の生活を支えてくれる存在に気づき、そのことが当たり前だと思うのではなく、感謝の心をもって生活していくこととする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一日の生活の様子を振り返ってみましょう。</li> <li>○「良くが作ったのでもない」ものについて、「良く」はどんなことに気づいたのでしょうか。</li> <li>○自分たちの生活を支えてくれている人たちは、どんな思いで仕事をしているのでしょうか。</li> <li>○「良く」はどんな大人になりたいと考えたのでしょうか。</li> <li>○家族や地域の人、お年寄りに対して、気づかないでいた「ありがとう」をたくさん探してみましょう。</li> <li>○教師自身も多くの人と共に支え合って生きているということを知す。</li> </ul>	社会科 総合的な学習の時間 学校行事	
4月	目覚まし時計	A 態度、原則	態度のある生活	自分で決めたことを守らないと嫌な思いになることに気づき、自分でできることは自分でやり、態度ある生活をしようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規則正しい生活をしないで、休みの調子が悪くなったことがありますか。</li> <li>○「わたし」が「わたしのまわり」を決めたにも関わらず、友達と遊ぶ約束をして勉強の時間を守らなかったり、夜遅くまでテレビを見たりするようになったのは、どんなことを考えていたからでしょうか。</li> <li>○保健室のベットの中で、「わたし」はどんなことを考えていたのでしょうか。</li> <li>○規則正しい生活をするためには、どのような考えをもつことが大切でしょうか。</li> <li>○教師が自分の子どもの頃、規則正しい生活をして、よりよい暮らしになった経験を知す。</li> </ul>	学級活動	
3	ヒキガエルとロバ	D 生命の尊さ	すべての命をたいせつに	ヒキガエルをいじめることを楽しんでいたアドルフたちの反省を通して、すべての生き物の命を大切にしようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生き物を飼っていますか。</li> <li>○子どもたちはどんな気持ちでヒキガエルに小石をぶつけているのでしょうか。</li> <li>○子どもたちは、荷車にひかれそうなおヒキガエルをどんな気持ちで見ているのでしょうか。</li> <li>○ヒキガエルとロバの話をいつまでも眺めていた子どもたちは、どんな思いで立っていたのでしょうか。</li> <li>○小さな生き物の命を守るためにできることは何でしょうか。</li> <li>○自分が飼っている生き物や身近な生き物の命についてどう思いますか。</li> </ul>	理科(栽培活動) 社会科	
4	あいさつができた	B 礼儀	気持ちのよいあいさつ	挨拶することが自分の気持ちをきまきまさせることに気づき、進んで誰にでも挨拶をしようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃、どんな人によく挨拶をしていますか。</li> <li>○この案から何か気づくことはありますか。</li> <li>○おばあさんに挨拶されたとき、ひろみはどうして挨拶ができなかったのでしょうか。</li> <li>○挨拶ができなかったとき、ひろみはどのようなおばあさんの気持ちを考えましたか。</li> <li>○なぜ、ひろみは挨拶をして「心がうきまきま」してきたのでしょうか。</li> </ul>	児童会活動	



# 道徳教育における各種計画

## 道徳教育の全体計画(別葉)

小学校学習指導要領解説 総則編より抜粋

各教科，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示すこと。

各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの，道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの，道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして，年間を通して具体的に活用しやすいものとする

# 道徳教育における各種計画

## 道徳教育の全体計画(別葉)

学校教育全体で行う道徳教育を、より効果的に実施することにつながる(SKIPポータル「書庫」)

道徳教育全体計画 別葉 第6学年 (H30年度~)															大阪市立〇〇小学校					
高学年の重点目標																				
内容	価値 (小学道徳 生せる力)	教科										総合的な 学習	外国語 活動	主な 学校 行事	特別活動		地域・家庭 との連携			
		国語 「新しい国語」	書写 「小学書写」	社会 「小学社会」	算数 「新しい算数」	理科 「わくわく理科」	音楽 「小学生の音楽」	図工 「図工工作」	家庭 「わたしたちの家族」	体育	保健 「新しいみんなの健康」				子規 習熟 (1)	子規 習熟 (2)		クラブ・ 児童会 委員会		
A 尊厳の明 断、自保、自由 と責任	3 ほんとうのことだけ と……/4月 13 自由行動/10月	新聞の改書を読み比 べよう/8月																		
A 正直、誠実	14 手品師/9月	家規をつばさ/5月									水の成れのようにな る/5月 わたしの大切な家族/ 5月							アトファバ トで遊ぼう/4 月 自分の一日 を紹介しよう /12月		
A 潔度、潔制	12 カスタマイズ電話 7月 23 自分を守るかっ て?/11月	資料を仕掛けて呼び かけよう/9月	教科と用具のあつま い方 羊留の地味方/4月								ヒトや動物の体/5月 録音と電気の利用/2 月 自然とともに生きる/4 月								自分の一日 を紹介しよう /12月	6年生に なっても/4 月 歴史のこ ろし方を考 えよう/7 月 性の健康 から身を守 ろう/11 月

# 教育課程研修 (小学校 道徳)

道徳科の充実に向けて